

能代・ニツ井中生が考案 **柿のパフェ** 食べに来て



能代市のニツ井中学校生徒が考案した柿を使ったパフェの試作と試食会が同校で開かれた。31日にニツ井小学校との合同プロジェクト「きみまちカンパニー」が主催する「きみ・パ・フェス」で販売する。

ニツ井中ではフェスに向けて企画、産業、観光の3事業部を編成。パフェ作りは産業事業部内

の取り組みで、放置された柿を活用したビジネスに取り組む柿木崇誌さん(39)＝同市ニツ井町＝が監修する。

試作は事前に出したアイデアを基に柿木さんが食材を用意。1～3年生計17人が渋抜きした柿や柿のピューレ、コーンフレーク、ヨーグルトなどの食材を入れる順番、見た目、分量を考えながらカップに盛り付けた。

試食後は食感や分量のバランスなど気づいた点を発表し、柿木さんが意見を取り入れてイベントまでに商品となるパフェを完成させる。柿木さんは「柿を好きな人が買いに来るようなPR方法も考えて」と呼びかけた。

3年の成田茉冬さんは「ヨーグルトを下に、生クリームを上に入れたら食べ進める中で酸味をより強く感じたので、ヨーグルトは上の方がいいと思った。たくさんの人においしいと言ってもらえるパフェを作りたい」と話した。

試作と試食会は7日に実施した。フェスは31日午前10時～午後2時、ニツ井町のきみまち商店街で開かれる。

(令和8年10月22日(木) 秋田魁新聞より一部抜粋)